

環境保護に関心を！ （野鳥巣箱コンクール）

10月3日に「第56回西部地区野鳥巣箱コンクール」の審査会が行われました。

このコンクールは、野鳥保護の理解と関心を深める目的で行われているもので、西部地区の小・中学校から多数の応募があり、入賞作品54点が選出されました。入賞作品は全県の「野生動物のすみかコンクール」に出品されます。

大山町関係の入賞者は次のとおりです。



【大山町長賞】

浅田翔生さん（大山西小）

中田花菜さん（大山中）

【大山町教育長賞】

西川健太さん（大山中）

椎木穂晶さん（大山中）

【西部町村会長賞】

梅林史皇さん（大山中）

【新日本海新聞社社主賞】

飯田宇紀さん（大山中）

ありがとうございます！ 大山の自然環境保護活動へ 寄付

琴浦町にある大山乳業農業協同組合（小前孝夫 代表理事組合長）から、9月29日に行われた「第21回大山まきば祭」の売り上げの一部を、大山の頂上を保護する会（会長・竹口大紀）に寄付していただきました。

贈呈式が10月17日に行われ、小前組合長は「大山の自然環境をよくしたいという思いで今年も寄付します」と話されました。



▲竹口町長に目録を手渡す小前組合長(右)

国の重要文化財門脇家住宅

秋の一般公開

国の重要文化財門脇家住宅秋季一般公開が11月1日から4日まで行われました。

一般公開にあわせて、若手作家による寄木細工作品やギター・木工家具などが特別に展示され、250年前の建物に調和した素晴らしい展示となりました。

門脇家当主や保存協力会員による展示物などの解説に、来館者は熱心に聴き入っていました。



▲若手作家製作のテーブルとギター

また、公開期間中は、所子町並み保存会ボランティアガイドによる「ところごとコトコ町並歩き」が行われ、一般公開に訪れた皆さんから好評を得ました。



▲収蔵品の古い屏風の前で



▲「ところごとコトコ町並歩き」の様子